2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- □ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県 • 政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 楠橋小学校】

1実践テーマ	I · I · II · IV · V (複数選択可)
2実施対象者	第3学年 2学級 58名 特別支援学級 3名
(学年·人数)	第4学年 2学級 43名
3展開の形式	(1) 学校における活動
	① 教科等名 (体育科・道徳科・総合的な学習の時間)
	② 行事名 ()
	③ その他 ()
	(2) 地域における活動
	① イベント名(
	② その他 ()
4 目 標	○ 2021年TOKYOオリンピックやオリンピックの歴史
(ねらい)	や競技種目などを調べ、オリンピックへの興味・関心を高める。
	○ オリンピック種目であるトランポリン競技の体験を通して、
	よさや楽しさ、難しさについて理解し、進んで様々なスポーツ
	に挑戦しようとする心情を養う。
5 取組内容	(1) 2021年東京オリンピックの開催を知り、オリンピック
	への興味・関心を高める。【事前学習】 〇 過去のオリンピックについて調べる。
	○ 過去のオリンピックについて調べる。○ 2021年東京オリンピックの競技種目について調べる。
	野球 ・ソフトボール ・空手 ・スケートボード
	・スポーツクライミング・サーフィン
	トランポリン競技について知る。
	(2) トランポリンを体験したり、指導者の話を聞いたりするこ
	とで、競技の楽しさや難しさに触れる。【体験学習】
	○ 指導者に模範演技を見せてもらい、様々な技に挑戦する。





◎ 過去2年、トランポリン教室を実施していたので、楽しみにしている児童が多かった。模範演技を見て「やってみたい」という興味・関心が高まり、意欲的に挑戦する姿が見られた。○ 基本的なトランポリンの技を体験する。



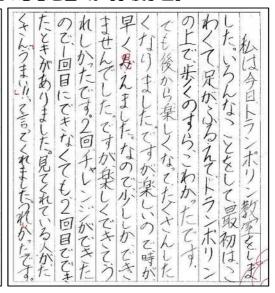


- 気を付けの姿勢でのストレートジャンプ
- ・膝落ち ・腰落ち ・膝落ちから腰落ち
- ・垂直跳びから腰落ち・垂直跳びから半ひねり
- ・ストレートジャンプ
- ◎ 3・4年生を1時間ずつに分けて実施した。トランポリン も4台あり、1グループが10~15名程度で、十分に活動 することができた。
- ◎ 各グループに指導員1名がついて指導を行っていただいたので、児童は安心して活動することができた。また、フリーの指導員もおり、的確なアドバイスで、できたという達成感を味わうことができた。
- 指導員の方の話を聞く。



- ◎ 指導員の方の話から、トランポリン競技の楽しさ や難しさ、努力などについて学び取ることができた。 児童は、スポーツの楽しさやおもしろさだけでなく、 自己の成長にもつながることに気付き、「やってみた い」という意欲を高めていた。
- (3) トランポリン教室の感想を書く。【事後学習】

17月27日にようンポットメタ室がありました。 トランポットは、はいめったらたからあまり出来ませ、 とないた。でもれめたことがありました。 それ、は、トランポットで高い戸所までとんだ日寺に 秋ばにはくい、をもらったし、ほめてもらったこと できまだあまり上手く出来なかったから、 またがはトランポットを安かあったら、 いっしょっしょっとよっては、もってよると 出来るようにしたいです。



<その他の感想>

◎ トランポリン教室の先生方が見せてくれた最初の技がすごくきれいで、そろっていてすごいなあと思いました。

◎ トランポリンの先生が上手に話してくれて、とてもやりや すかったです。 ◎ 教室の先生に、腕を回すと高く跳べると教えてもらったの で、挑戦するとすごく高く跳べたので、うれしかったです。 ◎ トランポリン教室に行って、いろんなコツを見つけたいな と思いました。 ◎ お母さんにお願いして、トランポリン教室に行きたいなと 思いました。 ◎ トランポリンができるようになったら、1年生に教えてあ げたいと思いました。 ○ トランポリン教室の感想を、道徳科(内容項目 中A-5) など) の学習で活用する。 ○ 指導員の方々の1対1の対応や丁寧な指導で、運動が苦手な 6 主な成果 児童、運動があまり好きではない児童も「できた」という達成 感を味わうことができた。 ○ 児童が生き生きと、意欲的に活動に取り組む姿が随所に見ら れた。感想にも、「楽しかった」「もう一度やりたい」という記 述が多く見られ、トランポリン競技への興味・関心の高まりが 感じられた。 ○ 指導員の方の模範演技を見て、児童は、演技のすばらしさに 感心していた。トランポリン教室と合わせて、スポーツ選手の 技術の高さを実感していた。 ○ 一連の取り組みを通して、様々な競技があることを知り、オ リンピックへの興味を高めることができた。 トランポリン教室での体験と道徳科の学習を関連させたこ とで、チャレンジすることやがんばることの大切さについて考 えることができた。 7実践において | 〇 トランポリン協会の方のご協力を得て、4台のトランポリ 工夫した点 ンを使って体験させることができた。そのため、活動時間が 多く、様々な技を体験することができた。 (事業の特色) ○ 1台に1名の指導員の方がついていただいたことで、児童 一人一人にきめ細やかな指導をしていただくことができた。 ○ 本年度は、道徳科との関連を図るなど、心の教育の面でも 活用した。 8主な課題等 ○ 本年度で3年目となり、現3年生から6年生までがトランポ リン競技を体験することができた。本事業が終了してもトラン ポリン教室は継続したいが、継続するには、輸送費等の費用の 面が課題になる。 ○ 新型コロナウイルス感染予防対策については、今後も慎重に 取り組んでいく必要がある。 9来年度以降の ○ 来年度も実施されるのであれば、本年度と同様に、トランポ 実施予定 リンを通して、より多くの学年(児童)がトランポリンを経験 できる機会にしたい。 平年度は、オリンピック・パラリンピックが開催されるので、 さらに興味・関心を高めていくことで、スポーツに親しむ心情 やスポーツから学ぶ心情を育てる指導の充実を図りたい。